

第20回(令和4年度)議会報告会での意見・要望等(区別)

開催内容

第1部 議会報告 9月定例会各常任委員会報告
決算特別委員会各分科会報告

○:参加者の発言要旨
→:議員の答弁要旨

第2部 意見交換 市政や議会に関する意見交換

下線部(回答保留・修正)
…別紙①、②参照

北 区

<第1部 議会報告>

○新潟市の施設(区役所や市場・市民病院等)がどのくらいCO₂を排出しているかについて把握しているか。また、今後どのくらい削減するのか。

→ 本日の資料には公共施設全体のCO₂排出量を示す資料はないが、当然、新潟市としては把握している。また、新潟市地球温暖化対策実行計画には、短期・中期・長期といったCO₂排出削減目標が定められており、新潟市の施設もその目標を目指すことになる。

○間伐材による発電は世界でもプラスの意見とマイナスの意見がある。バイオマス発電については新潟市として見直して欲しい。

→ いただいたご意見は、市議会としても注視していく。

○新電力会社であるスワンエナジーを助けることは、新潟市の財政を圧迫するものかと考えるかどうか。

→ 国は電気代の負担軽減策を打ち出している。また、新潟市も12月定例会で物価高対策を打ち出すと思う。それらを見据え、市議会として注視していく。

○新潟空港ターミナルビルへの支援について、新潟市だけでなく、県は支援しているのか。

→ 県も運営継続支援を行っている。額は新潟市より多いと考えている。

<第2部 意見交換>

○バイパスの交通渋滞等は経済活動のマイナス要因。北区の交通施策についてはJRの複線化を含め、議論してほしい。

→ JRの複線化等、大変面白い発想と考える。それらの可能性を含め、注視していく。

○東港の活性化について、現状は太平洋側の港ばかりが活用されている。目に見える様な形でアピールすべきでは。

→ 県と市で、目に見える形で港の活性化に取り組んでいきたい。

- 防災について、避難所運営等、新潟市の方針では現場は対応できない。
→ 防災について、市民に向けた発信が足りないところがある。ご意見を踏まえ取り組んでいきたい。
- 区づくり予算について、予算が少ないのは問題ではないかと考えるがどうか。
→ 議会としても問題意識がある。持ち帰り、取り組んでいきたい。
- 新潟市の職員について、定年延長で、新潟市の財政は大丈夫か。
→ 財政健全化の観点で、影響は現時点でないものとする。その上で、今回の定年延長(額面×70%)による人件費の影響は、これまでと変わらないという認識だ。
- 新潟市の職員について、土木・電気・建築等、専門職が足りないのではないかと。
→ 市議会としても問題意識を持ち、取り組んでいきたい。
- 県議会議員について、政令指定都市になって、多くの事業が県から新潟市に移譲された。その分、県議の仕事は減っている。そこに報酬を払うのはおかしいのでは。
→ 意見については県議会議員に伝える。

東 区

<第1部 議会報告>

- 再生可能エネルギーに対して予算を使いすぎでは？お金をたくさん使って果たして収支が取れるか。このまま続けていくのか。
→ 国としての取り組みの側面もあるので、市としてはまずは取り組みを優先しながら、引き続き議論を深めていきたい。
- コロナ対応に対しての総括を。
→ 議会としては、まだ総括できる状況ではないと判断している。全てが未知のものに対する対応・取り組みであったので、できることをできるだけ必死で取り組んできた。この頃はコロナというものがようやく見えてきたので、議論もより積極的になっている。(マスクやワクチンなど)
また、県の裁量が大きいので、市議会としてのジャッジには難しいものがある。
- 地域のお店応援商品券第1弾から第3弾までの発行に際しての効果をどのように考えるか。
→ 検証データの持ち合わせがないが、発行額60億円プラス波及効果と考える。まずは消費喚起が目的で、60億円を呼び水に消費拡大を図った。今後市民の皆さまに分かりやすい検証と評価が必要と考える。
- 疲弊した経済回復のための公共施設修繕事業とはどういうことか。
→ 早期に公共施設修繕の工事発注を行い、工事費を速やかに業者へ支払うことで、疲弊した経済の回復を図る。

○地域のまつり・イベント用具等整備補助事業における支援は何故再開に関してのみなのか。

→ 新規事業に関しては、「地域活動補助金」の制度をご利用願いたい。

<第2部 意見交換>

○今度のバス減便について、非常にびっくりしている。減便をするだけでなく、それに変わる新しいものを提案してほしい。

→ 他の区でも同じような声がある。また、タクシー業者からの要望も聞いている。新潟交通との話し合いの中でも市民の声を届けていく。

○以前の「事務事業評価」については、「集中改革プラン」に移行したとのことだが、改革効果がよく分からない。以前の「事務事業評価」のような形で公開してもらいたい。

→ 現在は、以前の事務事業評価シートは作成されていないが、予算を削減し、基金の一定額の積み増しを目標とする3年間の集中改革が行われてきた。集中改革の評価や進捗状況等は、市ホームページに掲載し公開されている。(修正・別紙①参照)

○ONEXT21のライトアップは、ウクライナへのロシア侵攻に対する平和的な解決に資するか。

→ このライトアップ経費は、新たに予算計上したものではない。

市民からロシアに対する強い抗議の声もあり、議会としていち早くロシアへの抗議を決議した。

○意見を言わせてもらいたい。

○私たちが明るくなるような政策の報道を(議会からも)してほしい。

中央区

<第1部 議会報告>

○光熱費高騰対策で住民税非課税世帯に対する支援だけなのか。

→ 国においても予算委員会で議論がなされている。今後の状況を注視しながらコロナ臨時交付金を活用して対応していく。

○新潟空港ターミナルに支援するとのことだが何故か。

→ 市としては、新潟の重要拠点であり県と歩調を合わせて支援することとしているため。

○太陽光発電について企業に対する補助だが一般世帯や市立高校や老人ホームなどでも設置が可能だが何故企業だけなのか。

→ 太陽光発電等については、今回は製造業だけ。その他は除外するという考え方ではない。今後、SDGSやCO2削減、温暖化対策の中で国からの支援を頂きながら設置可能な施設等にもカバーできるのではないかと期待をしている。中小業者の方々からも以前より要望が出されていたが予算がなく応えることが出来なかった経費がある。今年度の当初予算が早い段階でなくなったことから、国の臨時交付金を活用してこの度、補正予算とした。

学校施設などについては委員会でも設置に関して意見が出されたが、耐震改修やエアコン設置などを進めているため現時点で設置の計画はない。

○新潟交通に対し、2.5億円の支援を行ったが、4月の減便に加え12月にも減便されることになった。今後は、他の公共交通施策も必要なのではないか。

→ これまでも議会で何度も議論になった。ご意見を踏まえ、引き続き委員会等で協議していく。

○認知症サポーター養成講座で受講した方々を、どのように関わりを持たせるのか。

→ 委員会の審査でも、サポーター養成講座を受講された方々を、今後どのように巻き込んでいくのか、市としての展望が見えないといった意見が出た。いただいた提案を踏まえ、引き続き議会として課題に取り組んでいきたい。

○身寄りなし問題に対して新潟市としてセミナー等を開催して周知をはかってはどうか。

→ 社会福祉協議会や地域包括支援センターなどと連携して、対策が進むよう、提言につなげる。

○住民税非課税世帯に対する支援で、申請書を渡すと受け取れる仕組みになっているが、学生の場合、住民票を移していない人は受け取ることができないが周知と対応は。

→ 住民税非課税世帯、生活保護世帯、家計急変世帯を対象にしたもので、市報にいがた、LINE、パーソナルサポートセンターを通じて周知を行っている。学生への支援については意見として承る。

○集中改革の結果、就学援助を拡大したとあるが、認識では対象が減っている。

→ 対象費目は増えたが、生活保護基準の年度を変えたことで、対象となる世帯が減り、金額が減った部分もある。

○今後、物価高や燃料高騰が続くことが懸念されているため状況にあわせた支援を望む。

→ 意見として承る。

○再生可能エネルギー導入事業について、新潟は日照時間が短いことから太陽光だけではなく風力などの再生可能エネルギーも視野にいれていくのか。

→ 風力などは国が全国的に進めていて、西蒲区や西区で設置の可能性について検討・協議がなされている。今後、国の動向を注視していく。

<第2部 意見交換>

○陳情を提出したが議会運営委員会にて付託されないが何故か。

→ 陳情が提出された場合は、議会運営委員会において、付託するかを協議し、決定をする。

江南区

<第1部 議会報告>

○種苗法改正により、購入した種はその年しか使えず農業が厳しい。

→ 国の問題であるが、意見として承る。

○秋葉区廃止石油坑井封鎖事業について、観光財源として活かさないか。

→ 観光資源としては活かさない。市民生活を守るために河川への流出を止めることが最優先。

○教員の多忙化解消を望む。

○新潟空港への鉄道乗り入れと、3000m滑走路の実現を望む。

<第2部 意見交換>

○「にいがた2km」はどこから出てきたのか。地元商店街か。古町の発展はあるのか。中央区ばかり予算をかけているのでは。シェアサイクルは雨ざらしでいいのか。事故が起きた時の対処は。予算はどうなっているのか。

→ 「にいがた2km」は市の発想で市長が判断している。古町界隈のみならず、駅前から投資が入り、企業誘致、にぎわい空間の創出につなげ、全市的な発展につなげたい。シェアサイクルについては所管課に確認のうえ回答する。(回答別紙②)

○地球温暖化の原因は原発の冷却水の海への放出である。風力発電を推奨したい。

→ 貴重な意見として受け止め、風力も含め再生可能エネルギーについて調査研究したい。

○学童保育狭あい化について対策の現状は。

→ 現状で1.65㎡/人に満たない場所もあり、空き教室を利用するなど対応している。

○区長とは市の中でどういう立場なのか。

→ 区長は部長級の職員。

○新潟駅高架下を一般車両が通れないのはなぜか。

→ 駅の高架下は、ホーム直下かつ道路幅員の問題もあり、一般車両は通れない。

○新潟市民は交通マナーが悪いので、条例を作り注意喚起してほしい。

秋葉区

<第1部 議会報告>

○スクールサポートスタッフとは何か。また募集方法はどのようにしているか。

→ コロナ禍における教職員の負担軽減を図るためのスタッフのことで、本市では2年前(2020年)から配置しており、募集は各学校から業者などに対して行っている。

- スクールサポートスタッフの人員配置は、どのようにしているか。
→ 当初は全校に配置していたが、今年度からは教員事務支援員が配置されていない学校に配置している。財源は国の臨時交付金を活用している。
- 「肥料コスト低減支援事業」は、どのようにすれば受けられるのか。
→ 国の支援制度と関連している事業なので、詳しくは、区の担当課(秋葉区産業振興課)にご相談願う。
- 国の「Go To Eat 事業」はマイナンバーカード保持者を優先して購入手続きを進めたが、新潟市の「地域のお店応援商品券発行事業」はマイナンバーカード保持者を優先しないのか。
→ 商品券の発行は実行委員会で行っているが、これまでそういった意見は委員会審査でも聞いていなかった。今後のため、意見は市へ伝える。
- 「健幸すまいリフォーム助成事業」は風呂場修理時に利用させてもらい大変、助かった。需要は多くあると思うので、予算を増額したらどうか？
→ これまで、予算に対して申請が多いので助成額を減らして対応しているが、議会でも予算増額に向けて委員会で意見を出している。

<第2部 意見交換>

- 矢代田駅周辺地区土地区画整理事業について、なぜ6年間も事業が進まないのか、その責任は誰にあるのか、今後の事業の展開について聞きたい。また、これまで議会に対して陳情を数回出しているが、すべて不採択とした。その理由を聞きたい。
→ 事業の詳細を承知していないので後程、担当から連絡してもらおう。また、現在の状況について担当に確認して後程、質問者に連絡する方向で理解願いたい。
- 学校の統廃合について、現在どのようになっているのか？
→ 地域と教育委員会で協議しているところがあるかもしれないが、議会に対して正式な報告はない。
- 学校の設備が古くなったり、複式学級の学校もあつたりしている。統廃合を進めて新しい学校にした方が良いのではないか？
→ 意見として承る。
- 各区選出の議員で報告会を行った方が良い。そうでないと地域の課題の話しができない。

南区

<第1部 議会報告>

- 地域のお店商品券の説明がありましたが、年金生活者を含め生活困窮者に配慮した販売方法などを望む。
→ 貴重な意見として、市に伝える。

○消防署員のコロナ対策の充実について、クラスターが発生した場合の業務体制が懸念される。
現在の充足率はどうなのか、そのような事態の対応について議員の考えを伺いたい。
→ まずは定員割れを起こさないよう、若い世代や女性にも広報を通じ積極的な求人を行わなければと考えている。

<第2部 意見交換>

○南区の中央環状線工事について、来年度以降の計画についてわかる範囲で聞かせて欲しい。
→ 資料を持ち合わせていないので、後日、資料を届ける。

○除雪体制(大雪の場合の排雪)について。

(1)建設業者が請け負った民間施設の排雪を、市が指定した排雪場に持ち込んでいることがある。
そのような排雪は禁止という事であれば不公平の無いよう指導すべき。

(2)本日の会場(鷲巻地域生活センター)の除雪を請け負っているが、大雪の時も雪を山にするよう指示を受け、排雪はできなかった。この施設は避難所に指定されていて、駐車場が狭くなるのはいかがなものか。なぜ排雪できないのか。

(3)保育園も敷地内に高く積むのはどうなのか、園児の安全面が懸念される。優先的に排雪を促すべき。

→ それぞれ、貴重な意見として市に伝える。

○令和3年1月の大雪の際は、通学路にロータリー除雪車とダンプを並走させてやってくれました。
初めて見た光景で、大変良かったと感謝している。

○同じ除雪の件で、小学生が歩いて通学する道路なので、大変対応が良かったと思う。

○決算特別委員会の報告で江南区の実績の説明がありました。区づくり予算は江南区だけか。

→ 各区で区づくり予算による様々な取り組みがなされている。江南区の実績は、区の魅力を全国で頑張る学生に届けることで、結果Uターンにもつながるという好事例であり評価する、という委員会の意見を記したもの。

西 区

<第1部 議会報告>

質問、意見はなし。

<第2部 意見交換>

○JR越後赤塚駅のホームに屋根をつけて欲しい。

→ 意見として承る。地域からも声を上げていただきたい。

○観光立県として東京や大阪との交流人口を図ってはどうか。

→ 佐渡市との協定やトキエアを活かした都市間連携を頑張っていきたい。

○子どもに対し、横断歩道を渡る時は必ず手を挙げる指導をして欲しい。

→ 意見として承る。

○上下水道利用料と介護保険料が高く、生活が苦しい。料金を下げて欲しい。

→ 上下水道料金の簡単な値上げにならないよう、議会として指導・観察していきたい。物価高騰対応については、国へ申し入れたい。

また、介護保険料については、本市は全国的に高いレベルにあるが、本市における介護保険事業の特性(在宅介護より施設介護を充実している)があることをご理解いただきたい。

○コミュニティセンターの利用について、利用者団体が年度初めに年間の利用をまとめて予約してしまい、一般の利用者が土日に使いたくても使えない。定期利用者に偏りすぎて不平等ではないか。

→ 定期利用者が多い傾向は確かにあり、地域差もあると思うが、そこまで酷い例は聞いたことはない。定期利用の実態について、持ち帰って調べてみて、変な例があれば議会として注意していきたい。(回答別紙①)

○市議会だよりも県議会の広報紙のように、議員の顔写真を載せてはどうか。

→ 意見として承る。

西蒲区

<第1部 議会報告>

○「健幸すまいリフォーム助成事業」の予算増額について、お風呂のリフォームを予定している。人気があるようで予算額に達したら工事受注できないかもしれないということを聞いた。もしそうなったとしても何か救ってくれるのか？

→ 各区役所で相談していただきたい。意見は議会に取り上げ、どのように対応すれば良いか議論する。

○「地域の祭り・イベント等用具整備事業費補助金」について、3年間コロナ禍で地域の祭り中止。今年も練り歩きは中止とし、お宮の前で神輿を中心に法被を着て集合写真を撮った。補助金を活用して不足していた大人と子供各10着ずつ法被を購入出来た。ありがたいと思っている。来年は地域の上から下まで1キロ半の練り歩きを復活させたいと思っているので喜ばしい補助金だ。

→ 補助金交付申請は、来年の8月末まで申請可能なので、積極的に活用していただきたい。

<第2部 意見交換>

○Jアラートが鳴っても田んぼが広がるこの地域の住民はどのように行動すれば良いのか？避難場所が無いのでアラートが鳴っても聞き流すだけになるのか。

また、地域の防災組織を有効活用してほしい。具体的には、火災発生時には消防署に連絡することしかできない。消防団であっても消火栓や防火用水は消防署の指示がなければ使用できない。

→ ミサイル関係は国から避難行動が示されているが、なかなか基礎自治体で対応するのは難しいが、ご意見として承る。(次ページへ)

消防団の消火活動については高齢化・なり手不足の問題がある。消防署が到着するまでの地域の消防団による初期消火活動は大事と考える。

地域の防災組織と消防署の役割分担について、持ち帰って現状を確認し回答出来れば回答させていただきます。(回答別紙①)

消防団員の安全確保も踏まえた上で、全議員で共有する。

○期待した議会報告会だったが、参加人数が非常に少なく残念。また異なる区の議員にどこまで地域の意見を聞いて下さるか疑問。

○田園型政令都市に期待したが PR 不足。にしかん映画を3年かけて作成したが活用し切れていない。

○農産物応援事業が周知されていない。関東圏への人口流出が問題となっているがこの事業が効果的だと考える。新潟のさまざまなおいしい農産物、魅力的な温泉が他県へ PR できていない。新潟が認知されるよう議員にも頑張ってもらいたい。

→ 産地化も大事だが、産地化するには地元の皆さんと合意形成する必要がある。新潟の四季の魅力をしっかりアピールする。12月定例会で、3500万円の補正予算の提案を予定している。

○果物産地であるが後継者不足、高齢化で木や果樹棚、ハウスが壊され耕作放棄地が増えている。食料危機を目の前に矛盾している。

○梨農家の知人は、米はもうかるので若手に任せられるが、果物は自分の趣味でやっているだけと話す。企業を入れるだけでなく農業に携わる若手を育てなければならない。小麦に変わる米の加工を行政で促進してほしい。

→ 農業従事者は70%が高齢者。「稼げる」農業でないと若手が入ってくれない。農業を残したいという議論を今一度真剣にやっていく。南区では「里親制度」に取り組んでいる。黒字経営でも農業を泣く泣くやめる状況もあるので、他から受け入れる体制を整え、継承につなげていきたい。

以上